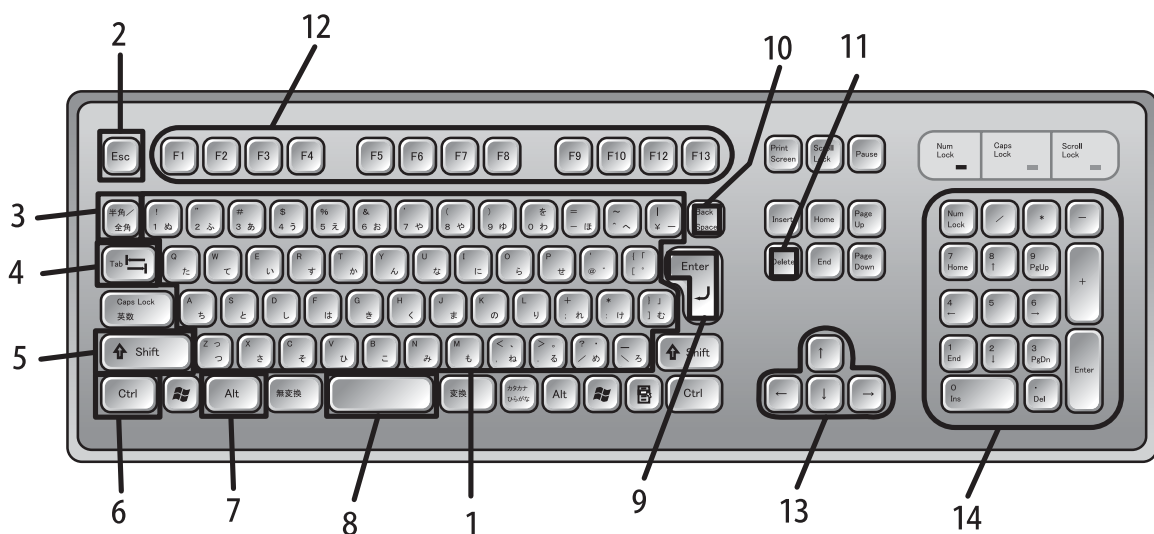


キーボードの使い方

Windowsの普及以降、PCの操作はマウスを使って行うことが多くなりました。しかし、依然としてキーボードもPCの操作をするための重要な機器です。文字入力は基本的にキーボードを使って行いますし、慣れればマウスを使うよりも素早く行える操作もあります。ここではキーボードの名称を解説していきます。

■ キーボード各部の名称と機能



1. 文字キー

文字や記号の入力を行う

2. ESC (エスケープ) キー

操作のキャンセル、ソフトの終了など

3. 半角 / 全角キー

日本語入力のオン・オフ切り替え

4. Tab (タブ) キー

項目間の移動、文章入力時にタブスペースを空けるなど

5. Shift (シフト) キー

6. Ctrl (コントロール) キー

7. Alt (オルト) キー

それぞれ単独では使用せず、他のキーと組合せて使う特殊なキー

8. スペースキー

スペース(空白)を空けたり、日本語の漢字変換などを行う

9. Enter (エンター) キー

文字入力の改行、漢字変換時の変換結果の確定、操作を決定して実行など

10. Back Space (バックスペース) キー

カーソルの左側の文字を削除する

11. Delete (デリート) キー

カーソルの右側の文字を削除する、ファイルやフォルダを削除するなど

12. ファンクションキー

様々な機能が割り振られている

13. 矢印キー

スクロール、カーソルの上下左右への移動、項目間の移動など

14. テンキー

数字入力専用のキー

■ 大文字入力と CapsLock キー

キーボードの文字キーを押すとき、普通は小文字が入力されます。しかし、Shift キーを押しながら文字キーを押すと英字は大文字、数字や記号は表面の上側に印刷された文字が入力されます。

また、英字の大文字を続けて入力したい場合は、Shift キーを押しながら CapsLock キーを押してオンの状態にします。オフにする場合も同様に Shift キーを押しながら CapsLock キーを押します。



CapsLock
オフ (小文字)



CapsLock
オン (大文字)



※ CapsLock をオンの状態にしたままパスワードの入力を行うと大文字と小文字を、間違うことがあります。パスワード入力うまくできない場合は、CapsLock キーの状態を確認しましょう。

■ 数字入力と NumLock キー

普通の文字キーの入力ができるのに、テンキーから数字の入力ができないことがあります。その場合は NumLock がオフになっている可能性があります。テンキーから数字を入力するためにはこの NumLock をオンにしておく必要があります。

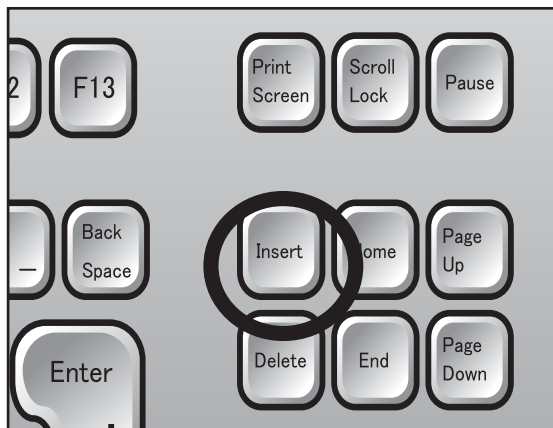
オン・オフを切り替えるにはテンキーの NumLock ボタンを押します。



■ 挿入と上書き

文字を入力する時には、「挿入モード」と「上書きモード」の2種類があります。挿入モードにすると新しく入力した文字をカーソルの位置に挿入し、上書きモードにすると新しく入力した文字をカーソル位置の文字に置き換えます。

ほとんどのソフトウェアは初期設定が挿入モードですが、入力中に誤って上書きモードにしてしまうことがあります。原因はキーボードの Insert キーを押してしまったため、もう一度 Insert キーを押せば元の挿入モードに戻ります。



挿入時



上書き時



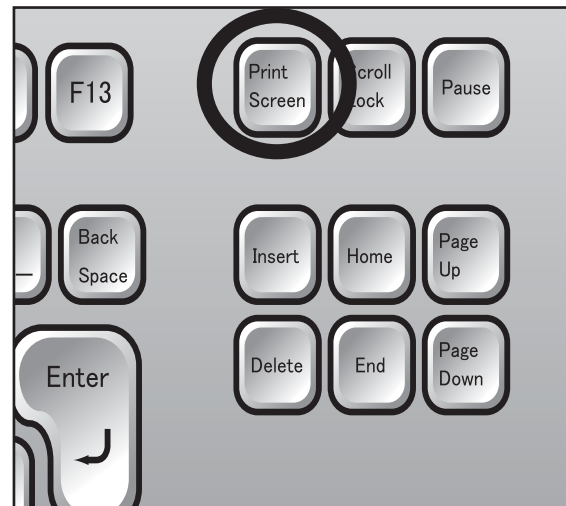
■ PrintScreen (プリントスクリーン)

デスクトップの画面を画像ファイルとして利用したい場合に使うのが PrintScreen キーです。このキーを押すと、ディスプレイに表示されている画面がそのままクリップボードに保存されるので、ペーストすることにより画像ファイルにすることができます。

任意の画面で PrintScreen キーを押し、[スタート]→[プログラム]→[アクセサリ]→[ペイント]をクリックします。

メニューバーの中から [編集]→[貼り付け] を選べば完了です。また、Alt キーを押しながら PrintScreen キーを押すと、その時アクティブになっているウィンドウのみの画面が保存されます。

※こういった操作をキャプチャリングなどと呼びます



■ 記号入力表

Shiftキーを押して入力する記号	
エクスクラメーション ↑Shift + ! ぬ = !	ダブルコーテーション ↑Shift + " ふ = “
シャープ ↑Shift + # あ = #	パーセント ↑Shift + % え = %
アンド ↑Shift + & お = &	シングルコーテーション ↑Shift + ' や = ‘
カッコ ↑Shift + (ゆ = (カッコ ↑Shift +) よ =)
チルダ ↑Shift + ~ へ = ~	イコール ↑Shift + = ほ = =
カッコ ↑Shift + < ね = <	カッコ ↑Shift + > る = >
クエスチョン ↑Shift + ? め = ?	アンダーバー ↑Shift + _ る = _
半角で使用する記号	
アット @ = @	スラッシュ / め = /
コロン : け = :	セミコロン ; れ = ;
ピリオド > る = .	カンマ < ね = ,
ハイフン = ほ = -	エンマーク ¥ - = ¥
全角で使用する記号	
句点 > る = 〇	中点 / め = 〃
長音 = ほ = ー	読点 < ね = 、
カギカッコ [「 = 「	カギカッコ] 」 = 」

ショートカットキー

WindowsXPには、一部の動作を素早く行うためのショートカットキーが用意されています。その一部を紹介します。

■ Ctrl キーを使ったショートカット

・すべてを選択する

アクティブウィンドウ内のすべての対象を選択するには [Ctrl] キーを押しながら [A] キーを押します。



・コピー

コピーしたい対象を選択している状態で、[Ctrl] キーを押しながら [C] キーを押すことでコピーをすることができます。



・切り取り

切り取りたい対象を選択している状態で、[Ctrl] キーを押しながら [X] キーを押すことで切り取りをすることができます。



・貼り付け

コピーしたり切り取ったりした対象を貼り付けるには、貼り付けたい場所を指定して [Ctrl] キーを押しながら [V] キーを押します。



・一つ前に戻す (アンドウ)

直前の操作を取り消して元に戻すためには、[Ctrl] キーを押しながら [Z] キーを押します。



・やり直し (リドゥ)

左記の取り消し操作 (アンドウ) を取り消す場合は [Ctrl] キーを押しながら [Y] キーを押します。



・ファイルを開く

アプリケーションソフトで使用するファイルを開けます。[Ctrl] キーを押しながら [O] キーを押すことで「ファイルを開く」のウィンドウを開くことができます。



・上書き保存

現在アクティブにしている状態のソフトのファイルを上書き保存するには、[Ctrl] キーを押しながら [S] キーを押します。



■ その他のショートカットキー

• ウィンドウの切り替え

今開いているウィンドウすべての中から、任意のウィンドウをアクティブウィンドウに切り替えることができます。

ウィンドウの選択は、[Alt] キーを押しながら [Tab] キーを押すことで行えます。



• アクティブウィンドウの変更

アクティブウィンドウにした順を遡ってウィンドウを変更することができます。

[Alt] キーを押しながら [Esc] キーを押すことで行えます。



• アプリケーションソフトの終了

[Alt] キーを押しながら [F4] キーを押すことで、アクティブウィンドウになっているアプリケーションソフトを終了させることができます。



• タスクマネージャーの表示

タスクマネージャーを起動させるには、[Ctrl] キーと [Shift] キーを押している状態で [Esc] キーを押します。



• Windows キー

単独で押すことによって、スタートメニューを開くことができます。また [Win] キー以外でも、[Ctrl] キーを押しながら [Esc] キーを押しても同じことができます。



• Application キー

単独で押すことによって、右クリックと同じ効果を得ることができます。ファイルの上にカーソルを合わせて [App] キーを押せば、右クリックした時と同じメニューを出すことができます。



• Windows キー + L キー

Windows にロックがかかり、使用中のユーザのパスワードを入力しないと使えなくなります。



• ヘルプの表示

ヘルプ画面を表示させるには、[ファンクションキー] の中の [F1] キーを押します。

